



アジャイルなモデルとは?

アジャイルなモデルとはかろうじて使えるモデルであり、以下のような性質を示す:

1. 目的を満たす
2. 理解できる.
3. そこそこ正確である.
4. そこそこ整合している.
5. そこそこ詳しい.
6. プラスの価値を提供する.
7. 可能な限りシンプルである

AM とは?

1. AM は姿勢であり、きっちりと定められたプロセスにあらず.
2. AM は、既存の方法論を補うものであり、完全な方法論にあらず.
3. AM は、利害関係者の要望を満たすために効果的にチームワークを行う方法なり.
4. AM は効果的であり、効果的になる道なり.
5. AM は実務に使えるものであり、学術的な理論にあらず.
6. AM は銀の弾丸にあらず.
7. AM は平均的な開発者のものなれど、有能な開発者を代替するものにあらず.
8. AM は説明資料の否定にあらず、AM は価値あるドキュメントを作ることを推奨するものなり.
9. AM は CASE ツールの否定にあらず.
10. AM は万人に対するものにあらず.

推奨するリソース

アジャイルモデリングホームページ
www.agilemodeling.com

アジャイルアライアンスホームページ
www.agilealliance.org

アジャイルデータホームページ
www.agiledata.org

モデリングスタイルホームページ
www.modelingstyle.info

アジャイルモデリングメーリングリスト
www.agilemodeling.com/feedback.htm

アジャイルモデリングパンフレット(本紙)
www.agilemodeling.com/pamphlet.htm

アジャイルモデリングワークショップ
www.ronin-intl.com/services/agileModeling.html

アジャイルモデリング(書籍)
www.ambysoft.com/agileModeling.html



アジャイルモデリング(AM) 概要

By Scott W. Ambler
scott.ambler@ronin-intl.com

アジャイルモデリング(AM)は、ソフトウェアに基づくシステムを効果的にモデリングするためのプラクティスに基づく方法論である。AM 手法は、プロのソフトウェア開発者が日々開発に適用できるプラクティスとそれを裏付ける価値、原則からなる。AM はきっちりと定められたプロセスではなく、特定の種類のモデルを作る手順を定義しない。代わりに、AM はモデラーとして効果的になるためにアドバイスを提供する。AM は感性であり、厳密に定められたものではない。AM を科学と考えず、技能と考えた方がよい。

AM の3つの目標:

1. 軽量で効果的なモデリングを行うためのプラクティスを定義し、それらを裏付ける原則や価値を定義し、示すこと
2. XP, DSDM, SCRUM のようなアジャイルなアプローチを適用したプロジェクトでモデリング手法をどのように使うかを探求する。
3. ラショナル統一プロセス(RUP), www.rational.com/products/rup/index.jsp, やエンタープライズ統一プロセス (EUP) (www.enterpriseunifiedprocess.info) のようにきっちりと定められたプロセスでモデリングをよりよく行う方法を探求する。



価値

AM の価値

- コミュニケーション
- 勇気
- フィードバック
- 謙虚さ
- 簡潔さ

アジャイルアライアンスの価値

AM の価値として上記したものに加えて、アジャイルモデリング手法はアジャイルアライアンス (AA) (www.agilealliance.org) がその宣言において規定した価値を取り入れる。以下が AA の価値である:

1. 個人や相互作用をプロセスやツールより重視する.
2. 動くソフトウェアを包括的なドキュメントより重視する
3. 顧客との協調を契約上の駆け引きより重視する.
4. 変化に対することを計画の遵守よりも重視する

大切なのは、各文の後半の考えに価値を認める場合も、(下線で示す)前半の考えをより重視するということを理解することである。この宣言は選択肢ではなく、好ましいことを定義したものと理解した方が良い。



原則

AM の基本原則

- 簡潔さを心がけよう
- 変化を受け入れよう
- 次への備えが第 2 のゴール
- 少しずつ変更
- 利害関係者の投資を最大限に生かそう
- 目的を持ってモデリングしよう
- 複数のモデル
- 質の高い仕事をしよう
- 素早いフィードバック
- ソフトウェアが第 1 のゴール
- 身軽な旅

AM の追加原則

- 見栄えより中身
- 誰も他人から学べる
- モデルを知ろう
- 道具を知ろう
- 実状に合わせよう
- オープンで正直なコミュニケーション
- 直観に従って開発しよう

プラクティス

AM の基本プラクティス

- 利害関係者の積極的な参加
- 適切な成果物を使おう
- 共同所有
- テストできるか考えよう
- 複数のモデルを並行して作ろう
- 中身はシンプルに作ろう
- モデルはシンプルに描こう
- モデルを公開しよう
- 他の成果物に移ろう
- 少しずつモデリングしよう
- 他の人と一緒にモデリングしよう
- コードで確かめよう
- もっとも簡単な道具を使おう

AM の追加プラクティス

- モデリング標準を使おう
- パターンは控えめに使おう
- 一時的なモデルは捨てよう
- 取り決めモデルはきちんと定義しよう
- 話すためにモデリングしよう
- 理解するためにモデリングしよう
- 既にある資源を再利用しよう
- 困った時だけ更新しよう